

ぶるす工房ファイル



ワラフトのリングファイル

臨床・支援現場で使えるツールがつまった1冊

ぶるすあるはが運営するサイト「子ども情報ステーション」の「役立ちツール（印刷用PDF）」を収録。セルフケアやコミュニケーション支援ツール、病気や障がいをイラストでまとめたシートなど、臨床・相談支援の現場ですぐに活用できる一冊です。

価格 14,300円(税込・送料別)／CDつき+3,300円

63 種
106 枚



ぶるす工房ファイル
購入ページへ

収録しているツール(例)

「いろんな気持ち日記」



「今ここは安全という気持ちを強める方法」



「権利から始まるリソースマップ」



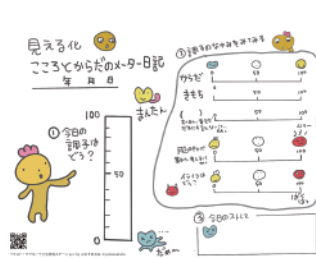
「境界線ってなに？」



「ポジティブワード集」



「こころとからだのメーター日記」



「こころの不調 / 精神疾患」



「摂食症」



ぶるす工房ファイル ver3 / 2025年5月

制作 NPO法人ぶるすあるは
仕様 A4サイズ
リングファイル約249×314×26mm・ケース付
内容 63種のツール・合計106枚(有料素材16種含む)
価格 14,300円(税込、送料別*)
CDつき**+3,300円

*送料 1,500円(北海道・九州・沖縄)、1,200円(その他の地域)

**オプションでCD(全アイテムのデータを収録)の有無を選ぶことができます

注文方法



ぶるすあるはの
オンラインストアより

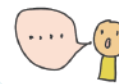


ぶるす工房ファイル
購入ページへ

※オンラインストアからの注文ができない
場合など、フォームからご注文が可能です。
請求書払いのほか、所定の書式にも
対応します。



注文フォームへ



利用者の方より

全部が一冊にまとまっていて便利です
ページをめくりながら、自然にアイテムを
提示できます

イラストが親しみやすく
関心をもってもらいやすいです

よく使うアイテムは何枚か印刷してファイルに入れて
その場で渡して、書きこんだりして使っています

病気のまとめシートが、見開きスタイルで使いやすいです
「〇〇の場合は…」とチェックリストをつけたり書きこんだり
病気の共通理解に役立っています

著作者プロフィール

プルスアルハ／NPO法人ぶるすあるは

絵本のお話と絵、全てのイラストを担当する精神科の看護師・細尾
ちあき(チアキ)と、医師・北野陽子を中心としたプロジェクトチーム。
精神保健に関するさまざまな情報発信を、絵本やツールの制作、
Webサイトの運営を通して行っています。精神障がいがかかえた親
とその子どもの応援がひとつの中心テーマです。

子ども情報ステーション

「役立ちツール」に全てのツールが収納されて
います。無料でダウンロードして使うことが
できます。(一部のツールはカラー版が有料です)



心理教育絵本・アイテムも好評発売中

ぶるすあるはでは、子どもや家族を支えるための絵本やカードも制作しています。以下は一例です。



ぶるすあるはの
オンラインストアより

『ボクのせいかもしれない...—お母さんがうつ病になったの—』(ゆまに書房／1,650円)

家族のこころの病気を子どもに伝える絵本シリーズ① 解説つき絵本

『こころにケガをしたら—トラウマってなんだろう?—』(ゆまに書房／2,750円)

最新刊、子どもといっしょにトラウマについて学び、いっしょに取り組む絵本 ワークブック(660円)あり

『気づく・えらぶ・伝える こころとからだコンディションカード』(合同出版／3,740円)

気づきとコミュニケーションに役立つ100枚の絵カード きもち・からだ・脳とこころ・きぼうカード

『コンディションカード・一覧シート(3種セット各50枚入り)』(ぶるすあるは／1,430円)

コンディションカードの25個のカードが一覧スタイルに 書きこんだり、綴じたり、配ったり

